第 20 回報告書 2023 年 11 月 20 日

# 異なるバージョンの Elasticsearch ノードのクラスタリング

祖父汀厉直

### 1 概要

リサイクル館の太陽光パネルの計測データを保存している Elasticsearch システム (133.71.201.197) はバージョン 7.17.6 であり、 $CO_2$  データを保存している Elasticsearch システム (133.71.106.141, 133.71.106.170, 133.71.106.136) はバージョン 7.17.9 である.

そこで今回は、Docker Compose を使用して、異なるバージョンである 7.17.6 と 7.17.9 の Elasticsearch ノードをクラスタリングすることが可能かどうかを確認するために実施した検証結果について報告する.

## 2 Docker とは

Docker は、コンテナと呼ばれる軽量で独立したコンテナ型仮想環境用のプラットフォームである。

従来の仮想化では、VMWare などの仮想化ソフトウェアを用いて、ホスト OS 上にゲスト OS を構築する形式だった。しかし、Docker はホスト OS 上にゲスト OS なしで独立したコンテナ型の仮想環境として構築される。Docker コンテナを利用する場合は、Docker Engine をインストールすることでコンテナの立ち上げ、停止、削除といった操作を行うことができる。

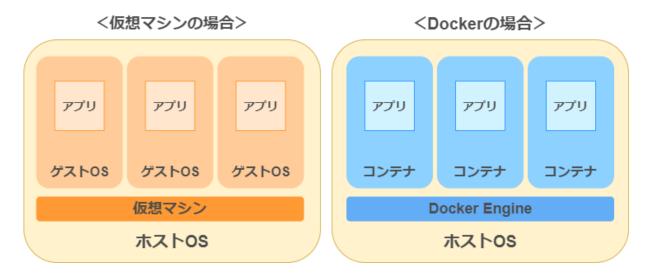


図 1: 仮想マシンと Docker の違い [2]

#### 2.1 コンテナとは

コンテナは、アプリケーションとそのすべての依存関係(ライブラリ、実行環境など)をカプセル化した軽量な実行単位である。Docker の場合、コンテナの作成には Docker イメージが必要となる。

#### 2.2 Dockerイメージとは

Docker イメージとは、Docker コンテナを作成するためのテンプレートであり、アプリケーションの実行に必要なコード、ライブラリ、環境変数、設定ファイルなどを含んでいる。

Docker イメージからコンテナを起動すると、そのイメージのインスタンスが動作し、アプリケーションが実行される。イメージはコンテナの基盤となる静的な部分であり、コンテナはそのイメージを実行時に動的に展開したものと考えることができる。

Docker イメージは Docker Hub やその他のレジストリで共有されており、これらのサービスから取得することが可能である.

今回は Elasticsearch の開発元である Elastic 社が提供している Elasticsearch の Docker イメージを使って検証を行う.

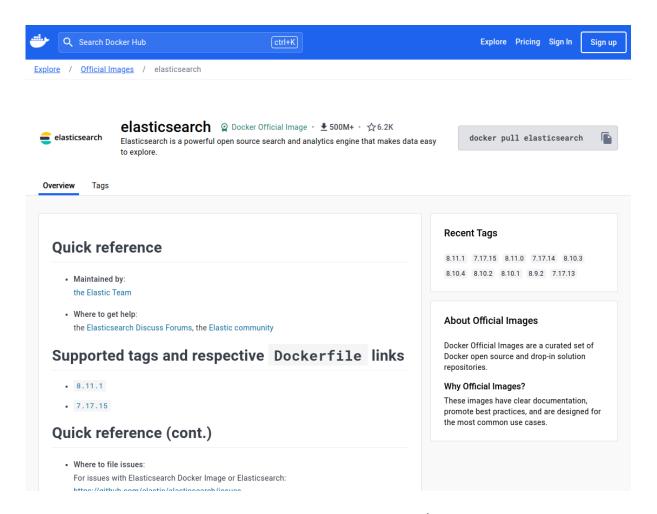


図 2: Elasticsearch の Docker イメージ

## 3 Docker Compose とは

Docker Compose は, 複数のコンテナを定義し, 実行するためのツールである. これは YAML ファイルを使用して設定され, 複数のコンテナで協調して動作するアプリケーションの開発を単純化する.

# 4 検証環境のセットアップ

**4.1** 全て同じバージョンの Elasticsearch を使用したクラスタ構成 (全 ノード バージョン 7.17.9)

Listing 1にクラスタを構成するのに使用した docker-compose.yml ファイルの内容を記載する.

Listing 1: 全て同じバージョンの Elasticsearch を使用したクラスタを構成する docker-compose.yml

```
1 version: '2.2'
2 | services:
    es01:
3
      image: docker.elastic.co/elasticsearch/elasticsearch:7.17.9
      container_name: es01
      environment:
        - node.name=es01
        - cluster.name=es-docker-cluster
        - discovery.seed_hosts=es02,es03
        - cluster.initial_master_nodes=es01,es02,es03
10
        - bootstrap.memory_lock=true
11
        - "ES_JAVA_OPTS=-Xms2048m_-Xmx2048m"
12
13
      ports:
        - 9200:9200
      networks:
15
        - elastic
16
17
    es02:
      image: docker.elastic.co/elasticsearch/elasticsearch:7.17.9
18
      container name: es02
19
20
      environment:
        - node.name=es02
21
        - cluster.name=es-docker-cluster
        - discovery.seed_hosts=es01,es03
23
        - cluster.initial_master_nodes=es01,es02,es03
        - bootstrap.memory_lock=true
25
        - "ES_JAVA_OPTS=-Xms2048m_-Xmx2048m"
26
      networks:
27
        - elastic
28
    es03:
      image: docker.elastic.co/elasticsearch/elasticsearch:7.17.9
      container_name: es03
31
      environment:
32
        - node.name=es03
33
        - cluster.name=es-docker-cluster
34
        - discovery.seed_hosts=es01,es02
35
        cluster.initial_master_nodes=es01,es02,es03
36
        bootstrap.memory_lock=true
        - "ES_JAVA_OPTS=-Xms2048m_-Xmx2048m"
      networks:
39
        - elastic
40
41
42 networks:
    elastic:
43
      driver: bridge
44
```

Listing 1の docker-compose.yml ファイルで記述している内容について説明する.

#### サービスの定義

• **es01**, **es02**, **es03**: これらは Elasticsearch のノード (サーバー) である. 各ノードは異なるコンテナとして定義されている. 'es01', 'es02', 'es03'はそれぞれ異なるコンテナ名で, Elasticsearch の異なるインスタンスを実行する.

#### 各ノードの設定

- image: 使用する Docker イメージ. ここでは Elasticsearch の 7.17.9 バージョンを使用している.
- container\_name: コンテナに割り当てられる名前.
- **environment**: 環境変数の設定. Elasticsearch のクラスタ設定, メモリ設定などを含む.
- **ports**: ホストマシンとコンテナ間のポートマッピング. 例えば, '9200:9200'は ホストの 9200 ポートをコンテナの 9200 ポートにマッピングする.
- **networks**: コンテナ間通信のためのネットワーク設定. ここでは 'elastic 'ネットワークが使用されている.

#### ボリュームとネットワークの設定

● **networks**: デフォルトのドライバである bridge ドライバを使用する 'elastic'ネットワークを定義している. これにより, 異なるコンテナが相互に通信できるようになる.

この設定により、Elasticsearch の 3 ノードを含むクラスタが Docker 上で動作するようセットアップされる.

クラスタの起動には、docker compose up -d コマンドを使用する.

docker compose up -d コマンドを実行した後, curl コマンドを使用してクラスタに参加しているノードを一覧表示した結果を図3に示す.

図 3: クラスタに参加しているノードを一覧表示した結果

図 3より、3 つのノード ('es01', 'es02', 'es03') すべてが正常にクラスタに参加できていることが確認できる.

# **4.2** 異なるバージョンの Elasticsearch を使用したクラスタ構成 (2 ノード バージョン 7.17.9, 1 ノード バージョン 7.17.6)

Listing 1の docker-compose.yml を Listing 2のように変更することで, es03 のノードで使用する Elasticsearch のバージョンを 7.17.9 から 7.17.6 に変更する.

Listing 2: Listing 1の docker-compose.yml から変更を加えた箇所

```
version: '2.2'
services:
...
es03:
image: docker.elastic.co/elasticsearch/elasticsearch:7.17.6
...
...
```

変更後, docker compose up -d コマンドを実行してクラスタを起動する.

クラスタの起動後, curl コマンドを使用してクラスタに参加しているノードを一 覧表示した結果を図 4に示す.

```
$ curl -X GET "localhost:9200/_cat/nodes?v=true&pretty"
ip heap.percent ram.percent cpu load_1m load_5m load_15m node.role master name
172.22.0.4 20 14 7 1.86 1.32 1.14 cdfhilmrstw - es02
172.22.0.3 18 14 8 1.86 1.32 1.14 cdfhilmrstw * es01
```

図 4: クラスタに参加しているノードを一覧表示した結果

図 4より, バージョンが 7.17.9 である 2 つのノード ( 'es01', 'es02') のみが正常 にクラスタに参加できていることが確認できる.

また、Elasticsearch 起動時に出力されたログを確認したところ、図 5に示すように、クラスタに参加できなかった es03 のコンテナで Elasticsearch がエラーログを出力して終了していることが分かった。

```
es03 | {"type": "server", "timestamp": "2023-11-20T05:23:44,794Z", "level": "INFO", "component": "o.e.p.PluginsService", "cluster.name": "es-docker-cluster", "node.name": "es03", "message": "no plugins loaded" } es03 | {"type": "server", "timestamp": "2023-11-20T05:23:44,843Z", "level": "INFO", "component": "o.e.e.NodeEnvironment", "cluster.name": "es-docker-cluster", "node.name": "es03", "message": "using [1] data paths, mounts [[/usr/share/elasticsearch/data //dev/sda6]]], net usable_space [153.4gb], net total_space [206.6gb], types [ext4]" } es03 | {"type": "server", "timestamp": "2023-11-20T05:23:44,843Z", "level": "INFO", "component": "o.e.e.NodeEnvironment", "cluster.name": "es-docker-cluster", "node.name": "es03", "message": "heap size [2gb], compressed ordinary object pointers
"cluster.name: "es-docker-ctuster, node.name: csos, mesoage: neap see tegs;"

[true]" }

es01 | {"type": "server", "timestamp": "2023-11-20T05:23:44,872Z", "level": "INFO", "component": "o.e.n.Node",
    "cluster.name": "es-docker-cluster", "node.name": "es01", "message": "node name [es01], node ID [xeg-kFwGRMmh8M4u8A-ZEA],
    cluster name [es-docker-cluster], roles [transform, data_frozen, master, remote_cluster_client, data, ml, data_content,
    data_hot, data_warm, data_cold, ingest]" }
    es03 | {"type": "server", "timestamp": "2023-11-20T05:23:44,902Z", "level": "ERROR", "component":
    "o.e.b.ElasticsearchUncaughtExceptionHandler", "cluster.name": "es-docker-cluster", "node.name": "es03", "message":
    "uncaught exception in thread [main]".
 "uncaught exception in thread [main]",
es03 | "stacktrace": ["org.elasticsearch.bootstrap.StartupException: java.lang.IllegalStateException: cannot downgrade a
node from version [7.17.9] to version [7.17.6]",
es03 | "at org.elasticsearch.bootstrap.Elasticsearch.init(Elasticsearch.java:173) ~[elasticsearch-7.17.6.jar:7.17.6]",
es03 | "at org.elasticsearch.bootstrap.Elasticsearch.execute(Elasticsearch.java:160) ~[elasticsearch-7.17.6.jar:7.17.6]",
es03 | "at org.elasticsearch.cli.EnvironmentAwareCommand.execute(EnvironmentAwareCommand.java:77) ~[elasticsearch-
7.17.6]",
  es03 | "at org.elasticsearch.cli.Command.mainWithoutErrorHandling(Command.java:112) \sim[elasticsearch-cli-7.17.6.jar:7.17.6]",
                                  | "at org.elasticsearch.cli.Command.main(Command.java:77) ~[elasticsearch-cli-7.17.6.jar:7.17.6]",
| "at org.elasticsearch.bootstrap.Elasticsearch.main(Elasticsearch.java:125) ~[elasticsearch-7.17.6.jar:7.17.6]",
                                          "at org.elasticsearch.bootstrap.Elasticsearch.main(Elasticsearch.java:80) ~[elasticsearch-7.17.6.jar:7.17.6]",
"Caused by: java.lang.IllegalStateException: cannot downgrade a node from version [7.17.9] to version [7.17.6]",
"at org.elasticsearch.env.NodeMetadata.upgradeToCurrentVersion(NodeMetadata.java:95) ~[elasticsearch-
 7.17.6.jar:7.17.6]",
es03 | "at org.elasticsearch.env.NodeEnvironment.loadNodeMetadata(NodeEnvironment.java:484) ~[elasticsearch-
                                | "at org.elasticsearch.env.NodeEnvironment.<intextwodeEnvironment.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gursass.gur
                                           "at org.elasticsearch.bootstrap.Bootstrap$5.<a href="mailto:kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinito-kinit
 es03
es03
                                           uncaught exception in thread [main] java.lang.IllegalStateException: cannot downgrade a node from version [7.17.9] to version [7.17.6]
                                                                                     at org.elasticsearch.env.NodeMetadata.upgradeToCurrentVersion(NodeMetadata.java:95 at org.elasticsearch.env.NodeEnvironment.loadNodeMetadata(NodeEnvironment.java:484)
 es03
es03
                                                                                        at org.elasticsearch.env.NodeEnvironment.<br/><init>(NodeEnvironment.java:356) at org.elasticsearch.node.Node.<br/><init>(Node.java:429)
                                                                                     at org.elasticsearch.node.Node.<init>(Node.java:429)
at org.elasticsearch.node.Node.<init>(Node.java:309)
at org.elasticsearch.bootstrap.Bootstrap$5.<init>(Bootstrap.java:234)
at org.elasticsearch.bootstrap.Bootstrap.setup(Bootstrap.java:234)
at org.elasticsearch.bootstrap.Bootstrap.init(Bootstrap.java:434)
at org.elasticsearch.bootstrap.Elasticsearch.init(Elasticsearch.java:169)
at org.elasticsearch.bootstrap.Elasticsearch.execute(Elasticsearch.java:160)
at org.elasticsearch.cli.EnvironmentAwareCommand.execute(EnvironmentAwareCommand.java:77)
at org.elasticsearch.cli.Command.minitipoutErrorPandling(Command.java:112)
 es03
                                                                                        at org.elasticsearch.cli.Command.mainWithoutErrorHandling(Command.java:112) at org.elasticsearch.cli.Command.main(Command.java:77)
                                    at org.elasticsearch.bootstrap.Elasticsearch.main(Elasticsearch.java:125)
at org.elasticsearch.bootstrap.Elasticsearch.main(Elasticsearch.java:80)
For complete error details, refer to the log at /usr/share/elasticsearch/logs/es-docker-cluster.log
   es03 exited with code 1
```

図 5: es03 のログ

## 5 まとめ

今回は、Docker Compose を使用して、異なるバージョンである 7.17.6 と 7.17.9 の Elasticsearch ノードをクラスタリングすることが可能かどうかを確認した. 今回の検証により、全てのノードが同じ 7.17.9 バージョンであればクラスタリン

グを行えることが確認できた. しかし, 異なるマイナーバージョン (今回は 7.17.6 と 7.17.9) のノードでクラスタを構築しようとすると, 古いバージョンのノードは クラスタに参加できなかった.

そのため、リサイクル館の測定データを保存している Elasticsearch をバージョンアップする必要があり、次回は Elasticsearch のバージョンアップ方法について調査した結果を報告する.

## 参考文献

[1] Elasticsearch B.V.,

"Install Elasticsearch with Docker — Elasticsearch Guide [7.17] — Elastic ", https://www.elastic.co/guide/en/elasticsearch/reference/7.17/docker.html, 参照 Nov 20,2023.

[2] RAKUS Developers Blog, "Docker とは一体何なんだ? 【初心者向け】 - RAKUS Developers Blog — ラクス エンジニアブログ", https://techblog.rakus.co.jp/entry/20221007/docker, 参照 Nov 20,2023.